

日本陸送協会の概要と安全・安心への取り組み



- 発足 : 昭和40年
- 会員数 : 全国 706 会員 (9支部)
- 積載車両数 : 5,805 台
- ドライバー数 : 16,839 名
(内女性 786名 4.7%)



日本陸送協会 二大基本方針

経営の安定化 業界の地位向上

安全の確立

輸送秩序の確立

経営環境の改善

◇ 日本陸送協会 重点施策 ◇

1) 安全の確立

- ・ 教育認定制度の充実
- ・ 健康起因事故の撲滅
(脳MRI受診/SAS検診推進)

5) 規制改革活動の推進

- ・ 自走：高速道路料金割引適用
- ・ 積載：特殊車両通行許可関係

2) 輸送秩序の確立

- ・ コンプライアンスの徹底
- ・ 路上積み下ろし作業拠点削減

3) 陸送事業の経営環境改善

- ・ 陸送事業概況調査の実施
- ・ 適正運賃収受に向けた取り組み (各社/個別対応)

4) 労働環境改善による労働力の確保

- ・ 作業環境改善/安全確保
- ・ 健康管理の推進
- ・ 働き方改革への対応

「積載」とは

積載事業とは、車両を自動車運搬用セミトレーラ（キャリアカー）に積載して運ぶ仕事です。

日本陸送協会の会員事業者のドライバーはお客様の車に細心の注意を払い車両を運んでいます。



教育認定制度の実施

日本陸送協会では「安全の確立」の実現に向けて、平成23年度から 国土交通省様後援の「教育認定制度」を実施し、会員各社のドライバーへの教育を行っています。



座学



実技



認定者数 (前年比)	全国	支部別								
		北海道	東北	北陸信越	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
	931	159	67	39	258	218	89	46	21	34
	+ 11.9%	0.0%	+ 0.0%	+ 8.3%	+ 16.2%	+ 5.8%	+ 32.8%	+ 31.4%	+ 23.5%	47.8%

キャリアカーへの積み込みと安全性の確保

キャリアカーへの積み込みと安全性について紹介します。

1. 積み込む車両の確認

積み込む車（商品車）に傷や汚れがないか確認しています。



2. 道板のセット

キャリアカーへ積み込むための道板を昇降台のガイドラインの延長線上に真っすぐにセットしています。



3. 積み込み

商品車に乗り、上段から下段へとキャリアカーに積み込みをします。商品車はタイヤストッパーに密着させて積み込みをし、フックを正しい位置に掛け、荷締め機という器具を使い、ワイヤやベルトで商品車をキャリアカーに固定しています。



4. 荷姿の確認

正しい荷姿になっているか、最後に作業の忘れがないかを一つ一つ見て、触れて確認しています。



◆ 積み込みのポイント ◆

キャリアカーのフロアにあるラインに沿って慎重に車両を走らせ、積み込みをしています。



傷がつかないように、ボディに直接ワイヤを掛けることはできません。外側からは見えませんが、積載する車両は以下のようにキャリアカーへしっかりと固定されています。



キャリアカーと積載する車両の間隙は最小で5cm、積載する車の車間は最小で10cmになります。商品車に傷をつけず、安全に走行する為にドライバーは積載状態を視るだけでなく、触れて確認しています。

安全安心な運行のために

私たちは、公共の道路を職場とする事業者として、車両制限令をはじめとする各種法令・交通ルールの遵守はもちろんのこと、歩行者や他のドライバーに配慮し、一般ドライバーの手本となるべき安全マナーの良い運転を心掛けています。

「安全運転」「事故防止のための危険予知・防衛運転」「環境に配慮したエコドライブの実施」

社会に対して安全安心を提供する為、ドライバーが目指す走行マナーを会員へ周知しています。

- ① 「思いやり」や「やさしさ」をもった運転
- ② 「ゆとり」と「寛大さ」をもった運転
- ③ 油断・過信は禁物